学校番号	T0301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱb	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	「新　高校の数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生までの数学Ⅰを復習しながら、より高度な図形と方程式、微分法と積分法について学習します。また、社会生活において数学が活用されている場面を知ったり、学習の中で数学的思考力を養うことで、身近な事象を数理的に考察する技能を身につけたりします。
・わからないことはすぐに授業担当者に質問をしても構いません。わからないことをそのままにしておくことはやめましょう。
・授業に出席することが基本です。欠席が多いと授業内容を理解することが難しくなります。
・定期テストは授業内容を中心に出題されます。
・教科書とプリントを使用します。プリントをしっかり提出してください
・考察プリント・振り返りシートにもしっかりと取り組んでください。

2　学習の到達目標

図形と方程式、微分法と積分法についての基礎的な知識や技能を習得します。
その中で、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の楽しさ・よさを認識できるようにします。
また、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形と方程式、微分・積分の考え方についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	図形と方程式	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2 直線の関係 円の方程式 円と直線 軌跡 不等式と領域	a:座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡や領域について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができたり、不等式の表す領域を求めたり、領域を表したりすることができる。 b:座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 c: 図形と方程式について、意欲的に学習しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワークシート 夏休み課題	授業プリント 振り返りシート
後期	微分法と積分法	微分係数 導関数 接線 関数の増減 関数の極大値、極小値 関数の最大値、最小値 不定積分 定積分 定積分と面積	a:微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形を描く方法を理解している。不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の	定期考査	定期考査 ワークシート 冬休み課題	授業プリント 振り返りシート

			値を求めることができる。 b:関数とその導関数との関係について考察することができる。関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c: 微分法と積分法について、意欲的に学習しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしたりしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度